

皆様 お元気ですか 公共交通機関利用以外ではマスク着用義務も無くなり、2年ぶりにコロナ以前の状況に戻りつつあるドイツです。ウクライナ戦争はまだ終わらず、平和な夏にはなりません、ドイツとフランクフルト市民にとっては明るい話題がひとつありました。何でしょう？ 勘のいいサッカーファンの方ならお分かりですね、そうフランクフルトが誇るサッカーチーム、アイントラハトのUEFA 優勝です。そんな訳で今月はサッカーについてのお話をご報告いたします。

UEFA ? あまり聞かない名称ですね、各国リーグ所属のチームが参加するトーナメント方式の国際大会です。アイントラハトは1980年以來、42年振り、二回目の優勝を遂げました。過去二部降格も数回ありますし、ブンデスリーガでは18チーム中10位前後が定位置ですがなぜか大舞台に強いアイントラハトです。

高校野球とプロ野球に代表されるように、日本では長い間、プロスポーツは野球一択でしたがJリーグの創設とワールドカップへの連続参戦で徐々にサッカー人気も高まってきました。Jリーグの設立にはドイツのサッカーリーグ、すでにドイツ語のままでも通じるブンデスリーガの思想やルールがほとんどそのまま導入されています。ブンデスは連邦を意味するドイツ語ですから連邦リーグといった意味です。ドイツ語でのドイツの正式名称はBundesrepublik Deutschland(ブンデスリプブリークドイッチュラント、ドイツ連邦共和国)なので、ブンデスは全日本くらいの意味となります。

Jリーグ以前、日本のサッカー界は企業サポートを受けた社会人チームがリーグ戦をして決勝戦が新聞のスポーツ欄の下に小さく紹介される程度でした。それを今日のようなJリーグに発展させたアイデアはブンデスリーガそのものです。一部リーグ18チーム、下位チームの入替戦などの各種ルールは全く同じです。3部まではプロ、それ以下6部まで地域クラブなどで組織されたリーグがあるそうです。

さらに重要なのは、都市・地域に根付いたチーム同士がリーグ戦を戦う、という地域密着のチーム設立コンセプトです。これもブンデスリーガの基本で、Jリーグのすべてのチーム名には必ず都市や地域が入っています。皆さんはもちろん京都サンガを応援されていますよね。ブンデスリーガをベースとしたJリーグの発展が日本のワールドカップへの連続参加を実現したことはとても嬉しい関連です。

サッカーに限りませんが、ドイツのスポーツは学校の部活ではなく、各地にあるスポーツクラブで運営されます。ある有望なサッカー少年が居た場合、彼の才能に見合う上のステップが次々と紹介されていくのです。ドイツナショナルチームに毎年有能な若手が登場するのはこんな仕組みがうまく機能しているからです。前回のワールドカップはまさかの予選リーグ敗退でしたが、カタールでは雪辱を果たしてほしいです。

すこし俯瞰してサッカーと野球を比較してみましよう。野球では部活であってもミットやバット、ベースなどが必要ですが、競技をするためにボール以外に必要なものがほとんどないのがサッカーです。平らな土地とゴールに見立てる立ち木などの目印を決めれば試合開始です。アフリカなど開発途上国からも有力な選手が生まれる理由だと思います。日本人の多くが野球のもとである英国のクリケットを理解できないように世界的に野球はルールの難しいスポーツです。投手と打者の一騎打ちとそれに続く展開が野球の醍醐味で

すが、サッカーでのパス連携とゴール前での個人技とシュートに至るプロセスはこれもサッカーの醍醐味です。共に団体戦と個人戦の両方が勝利には不可欠ですが、攻守を交代して仕切りながら進める野球よりも、ルールが比較的容易で常に攻守が入れ替わる緊張のあるサッカーの方が世界的には人気があるのも当然かも知れません。

古くは奥寺選手、高原選手など昔からブンデスリーガで活躍した日本人選手は沢山います。2022年シーズンもアイントラハト在籍15年目、リーグ内で37歳と最年長の長谷部誠選手、鎌田大地選手を始め、一部リーグだけでも8名が活躍しています。サッカー世界最強国の一つであるドイツブンデスリーガになぜ多くの日本人選手が在籍しているのでしょうか？一つの理由は契約金の限度額があると思います。資金力のあるチームに有力選手が集中しないよう契約金に上限を設けています。その範囲で有望な選手と契約したいチーム側と、海外での活躍を夢見る日本人選手の需給関係がよくマッチしているからだと思います。長谷部選手など先輩の活躍も後続の日本人選手の移籍を後押ししていることでしょう。アイントラハトに限らず、ブンデスリーガのチームは外国人選手との契約にきわめてオープンです。実際アイントラハトの登録選手の半分以上がドイツ人以外です。国籍を問わず、有力選手がブンデスリーガで活躍することでドイツサッカー全体の戦力アップを目指しています。一方でワールドカップ、ドイツチームでは過去エジル選手や日本に行ったポドルスキー選手、ゴール後のバク転で有名なクロゼ選手など外国選手が活躍していたのですが、どうしてでしょうか？ドイツナショナルチーム入りの為にはドイツ国籍の取得が条件です。彼らは移民やその子孫だったりして、ドイツ国籍を持っている選手なのです。

いかがでしたか？11月カタールで開催されるワールドカップ、日本はドイツと同じ予選Eグループで初戦から対戦します。最近大舞台では敗退の続くドイツに日本はどこまで善戦できるのでしょうか？楽しみですね。

ファンなら誰でも知っている応援ソングです。聞いていると元気が出ます。

<https://www.youtube.com/watch?v=0gqWlydBOMM&list=RDMM&index=8>



アイントラハトの団旗です、Eintracht は団結や連帯を意味するドイツ語です。本拠地のスタジアム 2006年のワールドカップでリニューアルオープンしました。